

肥満合併閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における腹腔鏡下胃スリーブ状切除術後の CPAP 至適圧変化の検討

1. 研究の対象

2010 年 10 月 1 日から 2023 年 4 月 30 日までに肥満に対する腹腔鏡下胃スリーブ状切除術（LSG）施行を目的に岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 外科を受診し、術前検査として睡眠医療科で、終夜睡眠ポリグラフィー（PSG）を施行後、閉塞性睡眠時無呼吸症と診断され、持続性気道陽圧（CPAP）治療を保険導入した患者さん。このうち、LSG 術後 1 か月、6 か月後に PSG を再検し、外来での CPAP 使用状況を確認できる患者さん。

2. 研究期間

研究実施許可後～2026 年 12 月 31 日まで

3. 研究目的・方法

肥満症に対する LSG を施行した患者さんの中には、施行前と比べ、施行後に CPAP の使用困難を訴え、使用率が低下する方がいます。そこで、LSG 施行前後における CPAP の使用率及び至適圧の変化を把握することは、CPAP 圧を適切に設定することにつながり、LSG 術後の CPAP 使用困難を減少させることができるものと考えられます。今回の研究は、LSG 施行前、施行後 1 か月および 6 か月の CPAP 使用率、至適圧の変化を調べます。

4. 研究に用いる試料・情報

情報：年齢、身長、体重、肥満ややせの指標である体格指数（Body Mass Index: BMI）、PSG の検査結果（総睡眠時間、各睡眠ステージの割合、覚醒反応指数、無呼吸低呼吸指数、酸素飽和度低下指数）、CPAP の使用データ（使用率、4 時間以上使用率、至適圧）等

本研究で取得した上記の試料・情報は、研究終了後 5 年間または結果公表日から 3 年（いずれか遅い日）保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の試料・情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

5. 研究費および利益相反

研究費は睡眠医療学科の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学睡眠医療学科 特任講師 細川 敬輔

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

TEL：019-613-6111（内線 3358）

研究責任者：

岩手医科大学睡眠医療学科 特任講師 細川 敬輔

-----以上